

博物館ニュース 18-1

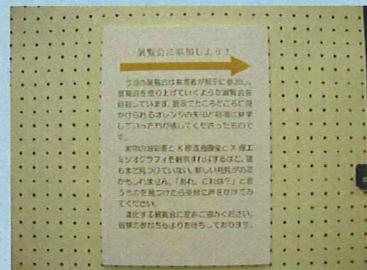
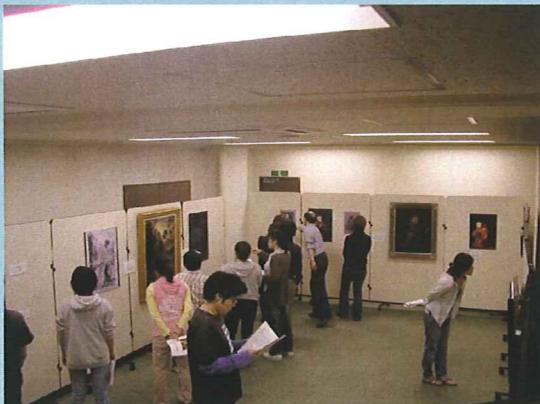
2006.06.08

企画展「菊子と牡丹と風景と」の報告

5月22日から6月2日にかけて開催された「菊子と牡丹と風景と—椿貞雄油彩画作品の科学調査報告展一」が無事に終了いたしました。この展覧会は参加型展示、学生ボランティアなど、初の試みを取り入れました。

参加型展示

今回の展覧会は来場者の方にも展示に参加していただきました。展覧会の内容に関して、X線透過画像、X線エミシオグラフィなどから何か発見した場合、受付に言っていただき、後日係員がその指摘をパネルにし、展示ボードに展示していくという方法をとりました。本来の展示は青い矢印、来場者の方の指摘はオレンジの矢印で展示しました。



学生ボランティアの活躍

展覧会の開催にあたり、学生ボランティアの方にご協力していただきました。展示前の会場片付け、展示ボード、パネルの運搬、展示作業、撤収作業などのお手伝いをしていただき、無事に展覧会を開催、終了する事が出来ました。

アンケートの結果で多かった意見 110/476 (アンケート回収枚数/来場者数)

- ・肉眼ではわからない事がわかつて面白かった。
- ・X線透過画像、X線エミシオグラフィを初めて知り、すごいと思った。
- ・実物を見られて良かった。
- ・X線による画像により絵を描く過程が見られて良かった。
- ・説明がわかりやすかった。
- ・X線透過画像、X線エミシオグラフィを一所に展示しているのが面白かった。
- ・展示中の発見が興味深かった。
- ・パンフレットが詳しく、よく出来ていると思った。
- ・参加型展覧会という事で、展示が進歩していくのがいいと思った。
足を運ぶのが楽しみになる。
- ・X線による調査は画家の側面をいじっているようで少し嫌だった。
- ・作品数を増やしてもいいと思う。